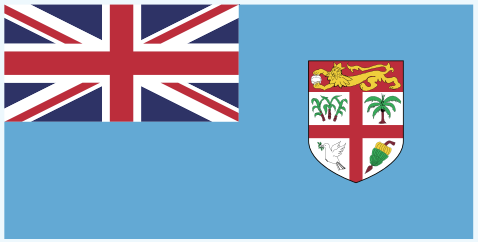
国の紹介



フィジーは、白い砂浜と澄んだ青空、そして人々のフレンドリーさで有名な南太平洋に浮かぶ美しい島嶼国です。フィジーには 330 以上の島がありますが、そのうち有人の島は約 100 島のみです。国民のほとんどは、最大の島であるビティレブ島とバヌアレブ島に居住しています。

首都スバはビティレブ島にあり、フィジーの政治経済の中心地です。フィジーの人口は約90万人で、先住民族のほか、インド系やヨーロッパ系の住民も多い多文化国家です。使用されている主要言語は英語、フィジー語、ヒンディー語になります。

フィジーの経済の柱は、観光業、農業（特にサトウキビ）、漁業です。フィジーの海はカラフルなサンゴ礁で知られ、ダイビングスポットやビーチリゾートとして高い人気を誇ります。祭りや伝統儀式などでも訪れた人を温かく迎え入れる文化が根付いており、フィジー人の親切さとホスピタリティーは「ブラ・スピリット」として知られています。美しい自然と豊かな伝統文化に彩られた、ユニークで特別な場所、それがフィジーです。

OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO2025

©Expo 2025

© Japan Association for the 2025 World Exposition. All rights reserved.
The text and images such as photos and illustrations are used under an agreement with Fiji.

FIJI PAVILION

フィジー館

**フィジー文化を体現した
工芸品、織物、ユニークな製品の
数々をご覧ください**

展示コンセプト

2025 年大阪・関西万博フィジー館へようこそ!

ブラ! (フィジー語で「こんにちは」の意） 2025 年大阪・関西万博では、フィジーの活気に満ちた文化、美しい自然、そして持続可能なイノベーションをご体験いただく機会を提供します。フィジーは南太平洋に浮かぶ島国で、南国のパラダイスというだけでなく、人と自然との調和を図ることを大切にしている国でもあります。フィジー館では、フィジーが誇る豊かな伝統文化、革新的なソリューション、そして自然環境との深いつながりから生まれる持続可能な暮らしのモデルをご提案いたします。没入感のあるディスプレイやライブパフォーマンス、インタラクティブな展示などを通して、気候変動への取り組みや伝統文化の保存など、世界的課題に対するフィジーのコミットメントをご覧いただければと思います。レジリエンスやイノベーションを楽しみながら推進し、すべての人々にとってより明るい未来を創造していく「ブラ・スピリット」を私たちと一緒に体現していきませんか?

フィジーの歴史

フィジーの歴史は 3500 年前まで遡ります。最初に移住してきて、活気あふれる島嶼文化の基礎を築いたのがオーストロネシア人とメラネシア人です。17 世紀になるとヨーロッパとの接触が始まり、19 世紀には貿易商やキリスト教の伝道師たちが多数来訪するようになりました。1874 年にイギリスの植民地となり、砂糖キビのプランテーションで働くインド人労働者が多数移住してきたことで、多彩な文化が融合する社会が形成されていきました。1970 年に独立を果たしましたが、政情不安が続き、1987 年、2000 年、2006 年にはクーデターが起きました。しかし、こうした困難をくぐり抜け、フィジーは政治の安定化と経済成長を目指して努力を重ねてきました。

現代のフィジー: 伝統と進歩の融合

今日、フィジーは、その文化的多様性や美しい自然だけでなく、環境サステナビリティや気候変動適応策に関して積極的な取り組みを行っていることでもよく知られています。フィジーは、これからもこの国の豊かな伝統文化と先進的なイノベーションを融合させ、未来につなげていきます。

キニキニ: フィジーの伝統的な戦闘棍

キニキニは、パドルの形をした伝統的な武器で、フィジーやトンガの首長や神官が使用していました。やはりパドル型の武器であるクラクラに似ていますが、キニキニのほうが刃の幅が広く、手の込んだ装飾が施されています。矢から身を守る盾であり、投てき武器であると同時に、首長や神官の地位や権威の象徴でもあります。キニキニにはよく２つの円のモチーフが描かれています。これは目を表しており、霊的な守護を与えるものと考えられています。薄い刃先は物を切ったり、骨を砕いたりするのに使われ、刃の根元は左右に広がって先が尖っており、中央に隆起線が走っています。キニキニは、先祖代々受け継がれてきた貴重な財産だと考えられています。神官が儀式で使用するキニキニには神秘的な力が宿っていると信じられています。

ドゥルア: 伝統的な航海カヌー

ドゥルアは板張りでつくられ、パンダナス（タコノキ）の葉を織った三角帆を張って風力で走るカヌーです。ダブルカヌーであるワカ・ドゥルアは、島々を結ぶ重要な海上交通の手段でした。この伝統的な舟は、交易、旅行、戦争、他の部族との争いなどに使われました。